

八雲町役場新庁舎等建設町民説明会の開催結果と今後の事業方針について

1月21日から23日にかけて、役場新庁舎建設事業に関する町民説明会を開催いたしました。

この説明会では、役場新庁舎建設に関する経過報告や今後の方針などについて説明し、町民の皆さまから直接ご意見をいただく貴重な機会となりました。

説明会は落部レクリエーションセンターで1回、はびあ八雲で2回開催し、延べ200名ほどの参加があり、さまざまなご意見をいただきました。

この町民説明会で寄せられた意見を踏まえ、今後の事業方針を次のとおり定めましたので、お知らせいたします。

【説明会での報告内容】

役場新庁舎等建設工事は、令和7年11月の着工を目指して入札手続きを進めて参りました。

しかし、建築主体工事については2度にわたる入札の不調により、年度内の契約締結が困難となりました。

この入札不調の原因を調査した結果、工事に使用する主要材料や施工費の高騰が大きな要因であることが判明し、事業を進めるには約9億円程度の予算増額が必要になることが判明しました。

これを受け、町としては次の3つの選択肢について検討を行いました。

- ①設計価格を見直し、工事費を増額して事業を継続する
- ②現在の計画を一旦白紙に戻して、シンプルで維持管理費を抑えた建物を再度設計する
- ③庁舎の建設を当面見送る

検討の結果、②の案を採用することに決定しました。

具体的には、これまでの設計を活用せず、新たに設計し直すことで、建設費用や将来の維持管理費用を抑えることができると判断しました。

この方針について説明会に参加された町民の皆さまへ報告し、ご意見をいただきました。

【町民の皆さまから寄せられた主な意見】

これまでにかかった設計費（約1億9,000万円）が無駄になることへの責任追及や、これまでの進め方に対する厳しい意見のほか、公民館機能に関する再検討や町民の声を聴くための相談窓口の設置要望、一旦立ち止まってゼロから考え直すという町長の決断に対する応援の声などを多数いただいたところです。

このため町としては、今後事業を進める際には、これまで以上に町民の声に耳を傾け、「町民主体の町づくり」に取り組んで参りますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

また、建設事業費財源の主体を占める合併特例債の借入期限が令和12年度までと期限が迫っているため、再設計した場合の期限切れに対する不安の声もありました。

設計費と時間を無駄にしないため、現設計を活かしつつ、庇や太陽光発電設備を取りやめて対応するほうが良いのではないかなど、などの提案もいただきましたが、事業費圧縮のため庁舎に集約する予定だった公民館や保健センター部分についても、既存施設の活用や集約の必要性などを再度検討する必要がある旨をご説明いたしました。